



Smart Netcommunity

α ZX

**ホテルコンソール
(スターコンソール / IP コンソール)
取扱説明書**






このたびは、スマートネットコミュニティα ZX ホテルコンソール（スターコンソール、IP コンソール）をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店で求めください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

ご使用にあたってのお願い

- 本商品は、スマートネットコミュニティαZX typeLに接続してお使いください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、録音などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品の設置工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事、修理は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。
- この取扱説明書とともに、必ずご使用になっているスマートネットコミュニティαZXの取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

設置について

警告

- 本商品（モジュージャックや電話配線等を含む）のそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品（モジュージャックや電話配線等を含む）は次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
 - ・ 直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所
 - ・ 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所
 - ・ 湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所
 - ・ ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
 - ・ 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所

お取り扱いについて

警告

- 万一、煙が出ている、変なおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品への接続コードを差込口から抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一、本商品を落したり、破損した場合、すぐに本商品への接続コードを差込口から抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品から異常音がしたり、熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品への接続コードを差込口から抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。
- 本商品（モジュージャックや電話配線等を含む）に水をかけたり、ぬれた手でのご操作はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

警告

- 本商品の内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品への接続コードを差込口から抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 万一、本商品（モジュージャックや電話配線等を含む）の内部に水などの液体が入った場合、すぐに本商品への接続コードを差込口から抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 配線（モジュラープラグ）に水などの液体がかかった場合は、乾いても使わないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります）。
- 本商品までの配線などを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると配線および接続コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。接続コードが傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 本商品の接続コードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品への接続コードを差込口から抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 近くに雷が発生したときは、すぐに本商品への接続コードを差込口から抜き、使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品や接続コードを熱器具に近づけないでください。本商品や接続コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- お客さまが用意された機器に本商品を接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所にご確認ください。確認できない場合は絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品をお手入れするときは、本商品への接続コードを差込口から抜いて行ってください。火災・感電の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

設置について

注意

- 本商品は次のような場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。
 - ・ ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所
 - ・ 振動、衝撃の多い場所
- 本商品を壁に取り付ける場合は、オプションの壁掛け用品および木ネジによりしっかりと固定設置してください。固定が不十分な場合、落下の原因となることがあります。

お取り扱いについて

注意

- 本商品の上に重い物をのせないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。
- 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
- 本商品の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

設置について

STOP お願い

- 本商品を電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバータエアコン、電磁調理器など）。
 - ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
 - ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 本商品は平らな面に置いてお使いください。落下や故障の原因となることがあります。
- 硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

お取り扱いについて

STOP お願い

- 本商品をベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
- 本商品の接続コードを引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。
- 本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

この取扱説明書の見方

章タイトル

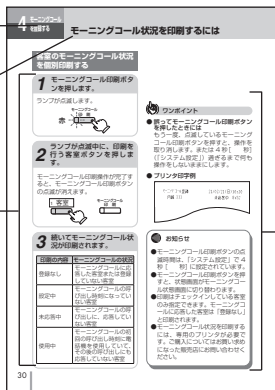
章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル

目的ごとにタイトルが付けられています。

操作手順説明

順番に操作を説明します。



ワンポイントまたはお知らせ

〈ワンポイント〉

知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明を示しています。

〈お知らせ〉

この表示は、本商品を扱ううえでの注意事項を示します。

本説明書では、システム設定で設定・変更できる値を、次のように表しています。

- チェックイン設定ボタンの点滅時間は、「システム設定」で4秒 [秒] に設定されています。

お買い求め時の時間

「システム設定」で変更した時間を記入してください。



ワンポイント

- **システム設定とは**

本商品を設置する際に、あらかじめ登録・設定しておくもので、システムの基本的な機能・動作を決めるものです。設置以後の設定内容の変更については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

目次

安全にお使いいただくために	
必ずお読みください	2
この取扱説明書の見方	8

1 お使いになる前に

特長	10
各部の名前	12

2 チェックイン/チェックアウトを行う

客室のチェックインを行うには	17
客室のチェックアウトを行うには	18
客室の清掃終了を行うには	20
チェックイン状況を確認するには	21
客室の通話料金の合計を 印刷するには	22

3 フロントメッセージを登録する

客室にフロントメッセージを 登録するには	23
客室に音声メールによるフロント メッセージを登録するには	24
フロントメッセージ状況を 確認するには	26

4 モーニングコールを登録する

客室にモーニングコールを 登録するには	27
モーニングコール状況を 確認するには	29
モーニングコール状況を 印刷するには	30
客室のモーニングコール状況を 個別印刷する	30
客室のモーニングコール状況を 一覧印刷する	31

5 客室の電話を管理する

客室電話機の使用状況を 確認するには	32
客室電話機を呼び出すには	33
客室電話機を呼び出す	33
外線を客室に転送する	34

6 ご参考に

索引	35
仕様	37
保守サービスのご案内	38

1
前に
お
使
い
に
な
る

2
ア
ウ
ト
を
行
う
チ
ェ
ッ
ク
イ
ン
/
チ
ェ
ッ
ク
ア
ウ
ト

3
フ
ロ
ン
ト
メ
ッ
セ
ー
ジ
を
登
録
す
る

4
モ
ー
ニ
ン
グ
コ
ー
ル
を
登
録
す
る

5
客
室
の
電
話
を
管
理
す
る

6
ご
参
考
に

ホテルコンソールは、スマートネットコミュニティαZXの電話機（フロント電話機）と接続して使用する装置です。

本ホテルコンソールに配置された客室ボタンとホテルのフロント業務に対応した機能ボタンを利用することにより、チェックイン/チェックアウト、モーニングコールの設定、フロントメッセージの通知など、ホテル業務をより簡単に行うことができますようになります。

客室ボタン

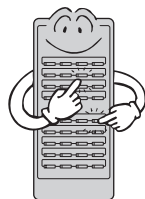
（チェックイン/チェックアウトなどの客室の選択および客室の状態表示）

次のフロント業務を行う客室を選択するときに使用します。

- ・チェックイン/チェックアウト（簡易チェックアウト含む）/清掃終了
- ・フロントメッセージ
- ・モーニングコール など

客室の状態をランプ表示でお知らせします。

- ・チェックイン状況
- ・フロントメッセージ状況
- ・モーニングコール状況
- ・客室電話機の使用状況



お知らせ

- スマートネットコミュニティαZXに接続されている各種電話機への通話料金の表示および各種料金管理装置への通話料金の表示・記録は、あらかじめシステムに設定されている料金データをもとに計算された結果です。通信事業者の料金を表示・記録するものではありません。このため、通信事業者からの実際の請求額とは一致しません。
- 料金データが設定されていない場合には、「システム設定」により、目安で料金計算を行い電話をかける、料金計算は行わないで電話をかける、電話をかけられないようにするのいずれかが設定できます。
- 通信事業者の通話料金の改定や、サービス提供エリアの拡大など、料金計算に必要な情報に変更があった場合は、この情報を最新のものにする必要があります。なお、情報の更新は、スマートネットコミュニティαZXの取扱説明書をご覧ください。ただし、ご使用になる回線やサービスによっては、通話料金が計算できない場合もあります。

機能ボタン（フロント業務の実行）

客室ボタンで選択した客室に対して以下のフロント業務が行えます。

●チェックイン／チェックアウト（簡易チェックアウト含む）／清掃終了

客室ごとにチェックイン／チェックアウト／清掃終了の設定が行えます。

チェックアウト時には、通話料金の合計が印刷できます。



●通話料金合計の印刷

客室ごとの通話料金合計を印刷できます。

通話料金合計の印刷ボタンを押した時点での通話料金合計が印刷されます。

通話料金合計	21/02/21(日)11:00:28
内線 111	
国内通話料金	¥0
国内通話料金	¥20
国内通話料金	¥0
合計	¥20

●フロントメッセージ

客室ごとにフロントメッセージを登録できます。



●モーニングコール

客室ごとにモーニングコールを登録できます。

また、モーニングコールの状況を一覧印刷したり、特定の客室だけを指定して印刷したりすることができます。



●客室状態の表示

状態画面の各ボタンを押すと、客室ボタンのランプ表示により、以下の客室状況が一目でわかります。

- チェックイン状況
- モーニングコール状況
- フロントメッセージ（音声メール）状況
- 客室電話機の使用状況



1 前にお使いになる

2 チェックイン／チェックアウトを行う

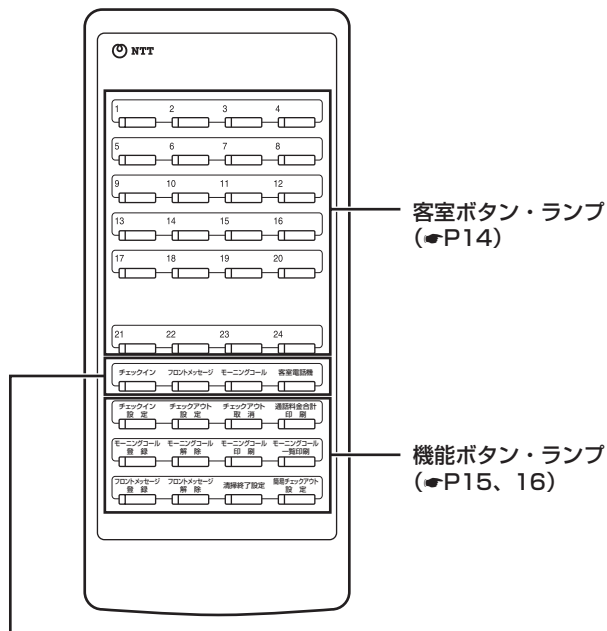
3 フロントメッセージを登録する

4 モーニングコールを登録する

5 客室の電話を管理する

6 ご参考に

【前面】

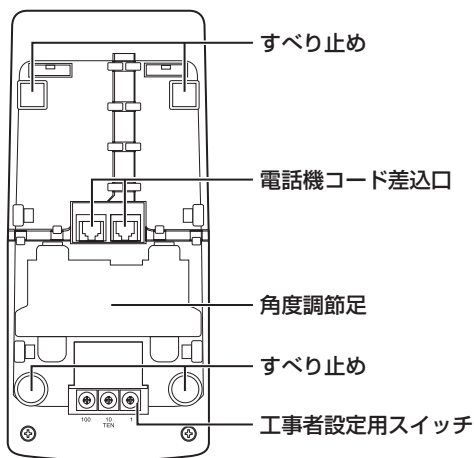


状態画面ボタン・ランプ (P14, 15)

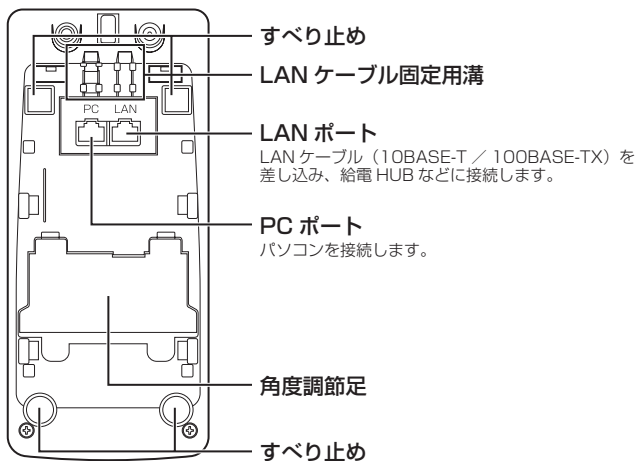
- チェックイン チェックイン状態画面
- フロントメッセージ フロントメッセージ状態画面
- モーニングコール モーニングコール状態画面
- 客室電話機 客室電話機状態画面

【底面】

スターコンソール



IP コンソール



1
前に
お使いになる

2
チェックイン / チェック
アウトを行う

3
フロントメッセージ
を登録する

4
モーニングコールを
登録する

5
客室の電話を
管理する

6
ご参考に

■客室ボタン・ランプ

チェックイン、チェックアウト、モーニングコールの登録などで客室を選択するときに使用します。

また、状態画面のチェックインボタン、フロントメッセージボタン、モーニングコールボタン、客室電話機ボタンを押すと、それに対応した客室の状況がランプで表示されます。

●チェックイン状況 (状態画面のチェックインボタンを押したとき) (●P21)

ランプの状態		チェックインの設定状況
赤	点灯	チェックイン状態のとき
	速い点滅	電話機が接続されていないとき、または通話中のとき
	点滅	清掃状態のとき (システム設定で「清掃終了省略なし」と設定されている場合)
消灯		空き状態のとき

※客室の電話機が接続されているか、または通話中かの確認は、チェックイン・チェックアウト操作により行われます。

●フロントメッセージ状況 (状態画面のフロントメッセージボタンを押したとき) (●P26)

ランプの状態		フロントメッセージの登録状況
赤点灯		フロントメッセージが登録されているとき
消灯		フロントメッセージが登録されていないとき、または応答済みのとき

※音声メールによるフロントメッセージが登録されているとき (システム設定で「フロントメッセージメール連動可」と設定されている場合) も赤点灯となります。

●モーニングコール状況 (状態画面のモーニングコールボタンを押したとき) (●P29)

ランプの状態		モーニングコールの登録状況
赤	点灯	モーニングコールが登録されているとき
	点滅	モーニングコールに未応答であるとき
消灯		モーニングコールが登録されていないとき、または応答済みのとき

●客室電話機の使用状況（状態画面の客室電話機ボタンを押したとき）（☛P32）

ランプの状態		客室電話機の使用状況
赤	点灯	通話中のとき
	点滅	ハンドセットが外れているとき
消灯		電話を使用していないとき

■機能ボタン・ランプ

チェックイン、チェックアウト、簡易チェックアウト、清掃終了、モーニングコールの登録などを行うとき、機能の選択に使用します。また、状態画面のチェックインボタン、フロントメッセージボタン、モーニングコールボタン、客室電話機ボタンを押すと、それに対応した客室の状況がランプで表示されます。

①チェックイン／チェックアウト／簡易チェックアウト／通話料金合計

- ・チェックイン設定ボタン : 客室のチェックインをするときに使用します。（☛P17）
- ・チェックアウト設定ボタン : 客室のチェックアウトをするときに使用します。（☛P18）
- ・チェックアウト取消ボタン : チェックアウトを取り消すときに使用します。（☛P18）
- ・簡易チェックアウト設定ボタン : 客室の簡易チェックアウトをするときに使用します。（☛P19）
- ・通話料金合計印刷ボタン : 客室の通話料金の合計を印刷するときに使用します。（☛P22）

②フロントメッセージ

- ・登録ボタン : フロントメッセージを登録するときに使用します。（☛P23）
- ・解除ボタン : フロントメッセージを解除するときに使用します。（☛P23）

③モーニングコール

- ・登録ボタン : モーニングコールを登録するときに使用します。（☛P27）
- ・解除ボタン : モーニングコールを解除するときに使用します。（☛P28）
- ・印刷ボタン : 指定する客室のモーニングコールの登録状況を印刷するときに使用します。（☛P30）
- ・一覧印刷ボタン : モーニングコールの登録状況を一覧印刷するときに使用します。（☛P31）

④状態画面

ホテルコンソールの客室ボタン・ランプの状態を確認します。

- チェックインボタン : チェックイン状況を表示します。(▶P21)
- フロントメッセージボタン: フロントメッセージ状況を表示します。(▶P26)
- モーニングコールボタン : モーニングコール状況を表示します。(▶P29)
- 客室電話機ボタン : 電話機の使用状況を表示します。(▶P32)

⑤清掃終了

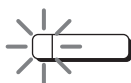
- 清掃終了設定ボタン : 客室の清掃が終了したときに使用します。(▶P20)

■ランプの表記について

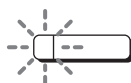
ボタンにはランプがあり、点灯・点滅して各種の状態を知らせます。点灯・点滅の意味は、ボタンの用途によって異なります。

この取扱説明書では、ランプについて以下のように表します。

点灯



点滅



客室のチェックインを行うには

1 チェックイン設定ボタンを押します。

ランプが点滅します。



2 ランプが点滅中に、チェックインを行う客室ボタンを押します。

チェックインされると、チェックイン設定ボタンの点滅が消え、客室ボタンのランプが点灯します。



ワンポイント

- 誤ってチェックイン設定ボタンを押したときには
もう一度、点滅しているチェックイン設定ボタンを押すと、操作を取り消します。または、4秒 [秒] (「システム設定」) 過ぎるまで何も操作をしないままにします。

お知らせ

- チェックイン設定ボタンの点滅時間は、「システム設定」で4秒 [秒] に設定されています。
- チェックイン設定ボタンを押すと、状態画面がチェックイン状態画面に切り替わります。
- チェックイン操作時、客室の電話機が接続されていないと客室ボタンのランプが速く点滅し、フロント電話機に「電話機確認」と表示されます。電話機が接続されるまでチェックインはできません。また、客室の電話機が使用中のときやチェックアウトしていないとき、清掃状態のときは、チェックインできません。
- 停電（バックアップ電池による動作ができなくなったとき）などで電源が遮断されても、チェックイン情報は保持されています。システムを再起動した際も、チェックインの再設定は不要です。

1 お使いになる

2 チェックイン/チェックアウトを行う

3 フロントメッセージを登録する

4 モーニングコールを登録する

5 客室の電話を管理する

6 ご参考に

客室のチェックアウトを行うには

1 チェックアウト設定ボタンを押します。

ランプが点滅します。



2 ランプが点滅中に、チェックアウトを行う客室ボタンを押します。

チェックアウトされると、チェックアウト設定ボタンの点滅が消え、客室ボタンのランプが清掃状態の点滅になります。



3 続いて客室の通話料金の合計が印刷されます。

ワンポイント

- 誤ってチェックアウト設定ボタン、またはチェックアウト取消ボタンを押したときには
もう一度、点滅しているチェックアウト設定ボタン、またはチェックアウト取消ボタンを押すと、操作を取り消します。または、4秒 [秒] (「システム設定」) 過ぎるまで何も操作をしないままにします。
- 客室のチェックアウトを取り消すには
チェックアウト取消ボタンを押し、ランプが点滅中に、チェックアウトの取り消しを行う客室ボタンを押します。
- 客室が通話中にチェックアウトするには
手順2で通話中の客室ボタンを押すと、客室ボタンのランプが速く点滅し、フロント電話機に「お話中」と表示されます。この状態では、まだチェックアウトは完了していませんが、もう一度チェックアウト設定ボタンを押すと、強制的にチェックアウトできます。

● プリンタ印字例

(国内税金が0%の例です。)

内線 111	21/02/21(日)10:28
チェックイン 02/20 18:03	
チェックアウト 02/21 10:28	
国際通話料金:	¥0
国内通話料金:	¥50
国内税金 :	¥0
合計 :	¥50



ワンポイント

- 簡易チェックアウトするには手順1でチェックアウト設定ボタンの代わりに簡易チェックアウト設定ボタンを押しても客室のチェックアウトを行うことができます。この場合は簡易チェックアウトとなり、通話料金の印刷内容が簡易なものになります。(印刷終了後の紙送りも省略されます。印刷内容をご確認する場合には手動による紙送りが必要です。)

- プリンタ印字例 (簡易チェックアウト)
(国内税金が0%の例です。)

内線 111	合計:	¥30
--------	-----	-----



お知らせ

- 手順2の客室ボタンのランプは、「システム設定」で「清掃終了省略」に設定されているときには、空き状態になり消灯します。
- チェックアウト設定ボタン、チェックアウト取消ボタンの点滅時間は、「システム設定」で4秒 [秒] に設定されています。
- チェックアウト設定ボタン、またはチェックアウト取消ボタンを押すと、状態画面がチェックイン状態画面に切り替わります。
- チェックアウト操作時、客室の電話機が接続されていないと客室ボタンのランプが速く点滅し、「フロント電話機に「電話機確認」と表示されます。
- 通話料金合計を印刷するには、専用のプリンタが必要です。ご購入についてはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。
- 国内税金とは通話料金の合計に対して「システム設定」で設定した税率を乗じた値が印字されます。「システム設定」では税率を0～100%で設定できます。

客室の清掃終了を行うには

1 清掃終了設定ボタンを押します。

ランプが点滅します。



2 ランプが点滅中に、清掃終了を行う客室ボタンを押します。

清掃終了すると、清掃終了設定ボタンの点滅が消え、客室ボタンのランプが消えます。



ワンポイント

- 誤って清掃終了設定ボタンを押したときには
もう一度、点滅している清掃終了設定ボタンを押すと、操作を取り消します。または、4秒 [秒] (「システム設定」) 過ぎるまで何も操作をしないままにします。
- 客室電話機から清掃終了設定を行うには
客室電話機からも清掃終了設定が行えます。
ハンドセットを上げて、清掃終了設定特番「9」「4」「9」 [] を押します。設定が終了すると確認音が鳴ります。

お知らせ

- 手順 2 の客室ボタンのランプは、「システム設定」で「清掃終了省略」に設定されているときには、チェックアウトの場合に消灯します。
- 清掃終了設定ボタンの点滅時間は、「システム設定」で 4 秒 [秒] に設定されています。
- 清掃終了設定ボタンを押すと、状態画面がチェックイン状態画面に切り替わります。

チェックイン状況を確認するには

状態画面のチェックインボタンを押すと、客室ボタンのランプでチェックイン状況を確認することができます。

1 状態画面のチェックインボタンを押します。



2 客室ボタンのランプ表示で各客室のチェックイン状況を確認できます。

ランプの状態	チェックインの設定状況	
赤	点灯	チェックイン状態のとき
	速い点滅	電話機が接続されていないとき 通話中のとき
	点滅	清掃状態のとき
消灯	チェックアウト状態のとき	

※客室の電話機が接続されているか、または通話中かの確認は、チェックイン・チェックアウト操作により行われます。

● お知らせ

- 状態画面の各ボタンを押すことにより、以下の状況を確認することができます。
 - ・フロントメッセージ状況 (☛P26)
 - ・モーニングコール状況 (☛P29)
 - ・客室電話機の使用状況 (☛P32)

1 お使いになる前に

2 チェックイン/チェックアウトを行う

3 フロントメッセージを登録する

4 モーニングコールを登録する

5 客室の電話を管理する

6 ご参考に

客室の通話料金の合計を印刷するには

チェックアウトすると、その客室の通話料金の合計が自動的に印刷されます。チェックイン中は現在までの通話料金の合計を印刷し、チェックアウト後に再度、通話料金の合計を確認をすることができます。通話料金合計を印刷するには専用のプリンタが必要です。ご購入についてはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

1 通話料金合計印刷ボタンを押します。

ランプが点滅します。



2 ランプが点滅中に、印刷を行う客室ボタンを押します。

通話料金合計印刷操作が完了すると、通話料金合計印刷ボタンの点滅が消えます。



3 続いて客室の通話料金の合計が印刷されます。

ワンポイント

- 誤って通話料金合計印刷ボタンを押したときにはもう一度、点滅している通話料金合計印刷ボタンを押すと、操作を取り消します。または、4秒 [秒] (「システム設定」) 過ぎるまで何も操作をしないままにします。
- プリンタ印字例
(国内税金が0%の例です。)

通話料金合計	21/02/21(日)10:28
内線 111	
国際通話料金:	¥0
国内通話料金:	¥30
国内税金 :	¥0
合計 :	¥30

お知らせ

- 通話料金合計印刷ボタンの点滅時間は、「システム設定」で4秒 [秒] に設定されています。
- 通話料金合計印刷ボタンを押すと、状態画面がチェックイン状態画面に切り替わります。
- 通話料金合計はチェックイン、チェックアウトに関係なくいつでも印刷できます。
- 客室が通話中に強制的にチェックアウトしたときの「通話」の通話料金は、合計料金に含まれません。
- 国内税金とは通話料金の合計に対して「システム設定」で設定した税率を乗じた値が印字されます。「システム設定」では税率を0～100%で設定できます。

客室にフロントメッセージを登録するには

登録先の客室をホテルコンソールで指定し、フロントメッセージを設定します。
フロントメッセージはチェックインしている客室のみ登録できます。

1 フロントメッセージ登録ボタンを押します。

ランプが点滅します。



2 ランプが点滅中に、フロントメッセージの登録を行う客室ボタンを押します。

登録されると、フロントメッセージ登録ボタンの点滅が消え、客室ボタンのランプが点灯します。



お知らせ

- フロントメッセージ登録ボタン、またはフロントメッセージ解除ボタンを押すと、状態画面がフロントメッセージ状態画面に切り替わります。
- フロントメッセージ登録ボタン、フロントメッセージ解除ボタンの点滅時間は「システム設定」で4秒 [秒] に設定されています。
- 停電（バックアップ電池による動作ができなくなったとき）などで電源が遮断されても、フロントメッセージ情報は保持されています。システムを再起動した際も、フロントメッセージの再登録は不要です。

3 続いて登録した客室電話機を呼び出します。

ワンポイント

- 登録したフロントメッセージを解除するには
フロントメッセージ解除ボタンを押し、ランプが点滅中に、解除する客室ボタンを押します。
- 誤ってフロントメッセージ登録ボタン、またはフロントメッセージ解除ボタンを押したときは
もう一度、点滅しているフロントメッセージ登録ボタン、またはフロントメッセージ解除ボタンを押すと、操作を取り消します。または、4秒 [秒]（「システム設定」）過ぎるまで何も操作をしないままにします。
- フロントメッセージがあることを客室に知らせるには
呼出音とメッセージランプが利用できます。

1 お使いになる前に

2 チェックイン/チェックアウトを行う

3 フロントメッセージを登録する

4 モーニングコールを登録する

5 客室の電話を管理する

6 ご参考に

客室に音声メールによるフロントメッセージ を登録するには

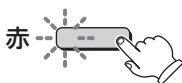
音声メールによるフロントメッセージを利用することができます。
登録先の客室をホテルコンソールで指定し、音声メールによるフロントメッセージをフロント電話機から設定します。
音声メールによるフロントメッセージは、チェックインしている客室のみ登録できます。

1 フロント電話機のハンドセットを上げます。

「ツーツー…」という音を確認してください。

2 フロント電話機のメール送信ボタンを押します。

メール送信ランプが点滅します。

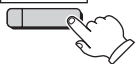


メール送信

3 ランプが点滅中に、音声メールの登録を行うホテルコンソールの客室ボタンを押します。

フロント電話機のメール送信ボタンが点滅となり、「メッセージをどうぞ」「ピー」という音のあとメッセージをお話してください。

1 客室

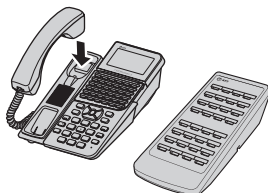


緑

101へ録音

4 お話が終わったら、ハンドセットを置きます。

音声メールが登録されると、メール送信ランプが消えます。



ワンポイント

●登録した音声メールを消去するには、次にチェックイン操作をしたときに、その客室の音声メールが全て消去されます。個別に消去したいときには、次の2つの方法があります。

1. 客室電話機で音声メール再生中に消去する（客室での操作）
音声メール再生中に「3」を押すと1件ずつ消去することができます。また、「*」「*」を押すと全ての音声メールを一括で消去することができます。
2. 直接メールボックスにアクセスして消去する
フロント電話機のメール再生操作で、直接メールボックスにアクセスして1と同じ操作で消去できます。
 - ① ハンドセットを上げる
 - ② メール再生の番号（「9」「6」「0」[]）を押す
 - ③ 客室の番号を押す（メール再生開始）
 - ④ 1.の操作を行う

なお、チェックアウト操作をしてもその客室への音声メールは消去されません。チェックアウトの取り消し操作をすることにより、その客室の音声メールを元の状態に戻すことができます。



ワンポイント

- **誤ってフロント電話機のメール送信ボタンを押したときは**
ホテルコンソールの客室ボタンを押すまでは、フロント電話機のハンドセットを置くことで音声メールの送信を取り消します。
- **音声メール登録後に客室の呼び出しを停止するには**
音声メールを登録後に客室の呼び出しが不要になった場合は、フロント電話機のハンドセットを上げて、音声メール連動解除特番「9」「6」「8」[]に続き、呼び出しを停止するホテルコンソールの客室ボタンを押します。
- **音声メールのフロントメッセージがあることを客室に知らせるには**
呼出音とメッセージランプが利用できます。



お知らせ

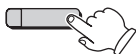
- 音声メールとフロントメッセージを同時に登録した場合は、フロントメッセージが優先されます。
- 音声メールによるフロントメッセージを登録した場合も、状態画面のフロントメッセージボタンを押すことで音声メールの状態を確認できます。(P26)
- 音声メール連動解除特番による呼び出しの解除は呼び出し動作を停止しますが、登録した音声メールは消去されるまで残ります。
- 客室の音声メールが全て消去されるまで、ホテルコンソールのフロントメッセージ状況のランプ表示と客室電話機のメッセージランプは点灯しています。
- 本操作以外にも音声メール機能を利用することで、外からの電話をそのまま客室にメッセージとして残すことができます。詳しくは「音声メール取扱説明書」を参照してください。

フロントメッセージ状況を確認するには

状態画面のフロントメッセージボタンを押すと、客室ボタンのランプでフロントメッセージまたは、音声メールの状況を確認することができます。

1 状態画面のフロントメッセージボタンを押します。

フロントメッセージ



2 客室ボタンのランプ表示で各客室のフロントメッセージ状況を確認できます。

ランプの状態	フロントメッセージの登録状況
赤点灯	フロントメッセージが登録されているとき 客室に音声メールが登録されているとき（システム設定で「フロントメッセージメール連動あり」）
消灯	フロントメッセージが登録されていないとき、または応答済みのとき

お知らせ

- 客室からの音声メール再生操作は客室電話機の設定と「システム設定」により異なります。詳しくは「客室電話機取扱説明書」を参照してください。
- 状態画面の各ボタンを押すことにより、以下の状況を確認することができます。
 - ・チェックイン状況（●P21）
 - ・モーニングコール状況（●P29）
 - ・客室電話機の使用状況（●P32）



ワンポイント

- 客室からフロントメッセージに回答するには
客室電話機から行います。
 - ・呼出中のとき、ハンドセットを上げると通話できます。
 - ・呼出待ちのときは、ハンドセットを上げて、フロントボタンを押します。フロントボタンの代わりにフロントの番号 [], またはフロント電話機の内線番号 [] を押ししても応答することができます。フロントメッセージに回答するとフロントメッセージは解除されます。
- 客室から音声メールに回答するには
 - ・呼出中のとき、ハンドセットを上げると自動的に音声メールが再生されます。
 - ・呼出待ちのときは、ハンドセットを上げて、メール再生ボタンを押すと音声メールが再生されます。
 - ・音声メールの再生中に「3」を押すと再生中の音声メールを消去することができます。
 - ・音声メールの再生中に「*」「*」を押すと全ての音声メールを消去することができます。メール再生ボタンの代わりに自メール再生特番「9」「6」「9」 [] を押ししても音声メールを再生することができます。

客室にモーニングコールを登録するには

登録先の客室をホテルコンソールで指定し、モーニングコールの時刻をフロント電話機から設定します。

モーニングコールはチェックインしている客室のみ登録できます。

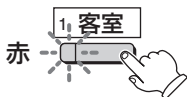
1 モーニングコール登録ボタンを押します。

ランプが点滅します。



2 ランプが点滅中に、モーニングコールを登録する客室ボタンを押します。

ランプが速く点滅します。



3 フロント電話機から操作します。

フロント電話機には次の内容が表示されます。

MC時刻設定
未登録>>--:--

4 モーニングコールの時刻 (00:00 ~ 23:59) を設定します。

モーニングコールが登録されると、モーニングコール登録ボタンの点滅が消え、客室ボタンのランプが点灯します。

<例>午前7:30の場合
「0」「7」「3」「0」と設定する。



1 お使いになる前に

2 チェックイン/チェックアウトを行う

3 フロントメッセージを登録する

4 モーニングコールを登録する

5 客室の電話を管理する

6 ご参考に

(次ページへ続く)



ワンポイント

- モーニングコールを解除するには
モーニングコール解除ボタンを押し、解除する客室ボタンを押します。
- モーニングコールの時刻を変更するには
 - ① モーニングコールの登録と同じ操作を行う
 - ② フロント電話機に前回設定時刻、「(xx:xx) >>入力時刻 (xx:xx)」が表示されるので、変更時刻を入力する
- 誤ってモーニングコール登録ボタン、またはモーニングコール解除ボタンを押したときには
もう一度、点滅しているモーニングコール登録ボタン、またはモーニングコール解除ボタンを押すと、操作を取り消します。または、モーニングコール登録ボタンでは20秒、モーニングコール解除ボタンでは4秒〔 秒〕〔「システム設定」〕過ぎるまで何も操作をしないままにします。また、時刻入力中はフロント電話機で他の操作（オフフック等）を行うか、20秒何も操作しないと登録を取り消します。



お知らせ

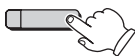
- フロント電話機が使用中の場合、モーニングコールの登録はできません。
- モーニングコール解除ボタンの点滅時間は、「システム設定」で4秒〔 秒〕に設定されています。
- モーニングコール登録ボタン、またはモーニングコール解除ボタンを押すと、状態画面がモーニングコール状態画面に切り替わります。
- 停電（バックアップ電池による動作ができなくなったとき）などで電源が遮断されても、モーニングコール情報は保持されています。システムを再起動した際も、モーニングコールの再登録は不要です。

モーニングコール状況を確認するには

状態画面のモーニングコールボタンを押すと、客室ボタンのランプでモーニングコール状況を確認することができます。

1 状態画面のモーニングコールボタンを押します。

モーニングコール



2 客室ボタンのランプ表示で各客室のモーニングコール状況を確認できます。

ランプの状態		モーニングコールの登録状況
赤	点灯	モーニングコールが登録されているとき
	点滅	モーニングコールに未応答であるとき
消灯		モーニングコールが登録されていないとき、または応答済みのとき

● お知らせ

- 状態画面の各ボタンを押すことにより、以下の状況を確認することができます。
 - ・ チェックイン状況 (●P21)
 - ・ フロントメッセージ状況 (●P26)
 - ・ 客室電話機の使用状況 (●P32)

1 前に
お使いになる

2 チェックイン/チェックアウトを行う

3 フロントメッセージを登録する

4 モーニングコールを登録する

5 客室の電話を管理する

6 ご参考に

客室のモーニングコール状況を個別印刷する

1 モーニングコール印刷ボタンを押します。

ランプが点滅します。



2 ランプが点滅中に、印刷を行う客室ボタンを押します。

モーニングコール印刷操作が完了すると、モーニングコール印刷ボタンの点滅が消えます。



3 続いてモーニングコール状況が印刷されます。

印刷の内容	モーニングコールの状況
登録なし	モーニングコールに回答した客室または登録していない客室
設定中	モーニングコールの呼び出し時刻になっていない客室
未応答中	モーニングコールの呼び出しに、応答していない客室
使用中	モーニングコールの初回の呼び出し時刻に電話機を使用していて、その後の呼び出しにも応答していない客室

ワンポイント

- 誤ってモーニングコール印刷ボタンを押したときにはもう一度、点滅しているモーニングコール印刷ボタンを押すと、操作を取り消します。または4秒〔 秒〕(「システム設定」) 過ぎるまで何も操作をしないままにします。

● プリンタ印字例



● お知らせ

- モーニングコール印刷ボタンの点滅時間は、「システム設定」で4秒〔 秒〕に設定されています。
- モーニングコール印刷ボタンを押すと、状態画面がモーニングコール状態画面に切り替わります。
- 印刷はチェックインしている客室のみ指定できます。モーニングコールに回答した客室は「登録なし」と印刷されます。
- モーニングコール状況を印刷するには、専用のプリンタが必要です。ご購入についてはお問い合わせください。

客室のモーニングコール状況を を一覧印刷する

モーニングコールを登録してある、すべての客室のモーニングコール状況を
一覧印刷します。

1 モーニングコール一覧印刷 ボタンを押します。

ランプが点滅します。



2 ランプが点滅中に、再度、 モーニングコール一覧印刷 ボタンを押します。

モーニングコール一覧印刷操作が完了すると、モーニングコール一覧印刷ボタンの点滅が消えます。



3 続いてモーニングコール状 況が一覧印刷されます。

印刷の内容	モーニングコールの状況
設定中	モーニングコールの呼び出し時刻になっていない客室
未応答中	モーニングコールの呼び出しに、応答していない客室
使用中	モーニングコールの初回の呼び出し時刻に電話機を使用していて、その後の呼び出しにも応答していない客室

ワンポイント

- 誤ってモーニングコール一覧印刷ボタンを押したときには4秒 [秒] (「システム設定」) 過ぎるまで何も操作をしないままにします。

● プリンタ印字例

```

モーニングコール一覧          21/02/21(日) 7:39
内線 名称          時刻 状態
101          7:30 未応答中
102          7:35 使用中
105          7:40 設定中
110          8:00 設定中
計 客室
    
```

お知らせ

- モーニングコール一覧印刷ボタンの点滅時間は、「システム設定」で4秒 [秒] に設定されています。
- モーニングコール一覧印刷ボタンを押すと、状態画面がモーニングコール状態画面に切り替わります。
- モーニングコールに応答した客室は印刷されません。
- モーニングコール状況を印刷するには、専用のプリンタが必要です。ご購入についてはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

1
前に
なる

2
チェックイン/チェックアウトを
行う

3
フロントメッセージを登録する

4
モーニングコールを登録する

5
客室の電話を管理する

6
ご参考に

客室電話機の使用状況を確認するには

状態画面の客室電話機ボタンを押すと、客室ボタンのランプで客室電話機の使用状況を確認することができます。

1 状態画面の客室電話機ボタンを押します。



2 客室ボタンのランプ表示で各客室電話機の使用状況を確認できます。

ランプの状態		客室電話機の使用状況
赤	点灯	通話中のとき
	点滅	ハンドセットが外れているとき
消灯		電話を使用していないとき

お知らせ

状態画面の各ボタンを押すことにより、以下の状況を確認することができます。

- チェックイン状況 (●P21)
- フロントメッセージ状況 (●P26)
- モーニングコール状況 (●P29)

客室電話機を呼び出すには

ホテルコンソールの客室ボタンを使って、フロント電話機から客室電話機を呼び出すことができます。
また、外からかかってきた電話を客室電話機に転送することができます。

客室電話機を呼び出す

1 呼び出す客室ボタンを押します。

フロント電話機に客室の内線番号が表示されます。



2 フロント電話機のハンドセットを上げます。



先にハンドセットを上げてから客室ボタンを押しても、呼び出すことができます。

ワンポイント

- 呼び出す前に客室状況を確認するには、呼び出す客室ボタンを押す前に、状態画面の客室電話機ボタンを押します。

お知らせ

ワンタッチオンフックサービスを利用されている場合でも、手順1の操作だけでは客室を呼び出すことはできません。

1
前に
お使
い
に
な
る

2
ア
ウ
ト
を
じ
ゃ
う
チ
ェ
ッ
ク
／
チ
ェ
ッ
ク

3
フ
ロ
ン
ト
メ
ッ
セ
ー
ジ
を
登
録
す
る

4
モ
ー
ニ
タ
ー
コ
ー
ル
を
登
録
す
る

5
客
室
の
電
話
を
管
理
す
る

6
ご
参
考
に

外線を客室に転送する

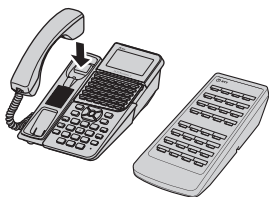
1 外線と通話中に、転送する客室ボタンを押します。

外線が自動的に保留され、客室を呼び出します。



2 客室が応答したらフロント電話機のハンドセットを置きます。

外線が客室に転送されます。



ワンポイント

- 客室を呼び出し中に転送するには
 - ① 保留ボタンを押して外線を保留する
 - ② 客室ボタンを押して客室を呼び出したあと、フロント電話機のハンドセットを置く
- 転送先の客室が応答しない場合
転送先が通話中などで呼び出しに
応答しないときは、外線ボタンを押す
ことで、保留された外線との通話に
戻ることができます。

お知らせ

- 「システム設定」で呼出状態転送不可に設定されている場合、客室呼び出し中の転送はできません。
- 「システム設定」でオンフック転送不可に設定されている場合、ハンドセットを置いても転送できず、外線は保留されたままになります。
- 「システム設定」で自動保留が押換えに設定されている場合、通話中に客室ボタンを押すと外線が切れ、客室が呼び出されます。

五十音

【ア行】

印刷する

通話料金を印刷する……………22

モーニングコール状況を印刷する
(一覧印刷)……………31

モーニングコール状況を印刷する
(個別印刷)……………30

音声メール

応答する……………26

状況を確認する……………26

消去する……………24

登録する……………24

【カ行】

外線を転送する……………34

各部の名前……………12

簡易チェックアウト

設定ボタン……………15、19

機能ボタン・ランプ……………12、15

客室電話機状態画面……………12、32

状況を確認する……………32

客室電話機の使用状況……………15

客室電話機ボタン……………16

客室電話機を呼び出す……………33

客室ボタン・ランプ……………12、14

【サ行】

システム設定……………8

状態画面……………16

客室電話機ボタン……………16、32

チェックインボタン……………16、21

フロントメッセージボタン……………16、26

モーニングコールボタン……………16、29

状態画面ランプ……………12

清掃終了

設定ボタン……………16、20

清掃終了する……………20

【タ行】

チェックアウト

設定ボタン……………15、18

取消ボタン……………15、18

チェックアウトを行う／

取り消す……………18

チェックイン

設定ボタン……………15、17

チェックイン状況……………14、21

チェックイン状態画面……………12、21

チェックインボタン……………16、21

チェックインを行う……………17

状況を確認する……………21

通話料金合計

印刷ボタン……………15、22

通話料金の合計を印刷する……………22

転送……………34

取り扱い……………4、6、7

1
前に
お使
い
に
なる2
ア
ウ
ト
を
行
う
／
チ
ェ
ッ
ク
イ
ン
／
チ
ェ
ッ
ク3
フ
ロ
ン
ト
メ
ッ
セ
ー
ジ
を
登
録
す
る4
モ
ー
ニ
ン
グ
コ
ー
ル
を
登
録
す
る5
客
室
の
電
話
を
管
理
す
る6
ご
参
考
に

【ハ行】**フロントメッセージ**

- 応答する…………… 26
 - 音声メールに応答する…………… 26
 - 音声メールを消去する…………… 24
 - 音声メールを登録する…………… 24
 - 解除する…………… 23
 - 解除ボタン…………… 15、23
 - 状況を確認する…………… 26
 - 登録する…………… 23
 - 登録ボタン…………… 15、23
- フロントメッセージ状況 …… 14、26**
- フロントメッセージ状態画面 …… 12、26**
- フロントメッセージボタン …… 16、26**

【マ行】**モーニングコール**

- 一覧印刷ボタン…………… 15、31
 - 印刷ボタン…………… 15、30
 - 解除する…………… 28
 - 解除ボタン…………… 15、28
 - 状況を印刷する（一覧印刷）… 31
 - 状況を印刷する（個別印刷）… 30
 - 状況を確認する…………… 29
 - 登録する…………… 27
 - 登録ボタン…………… 15、27
- モーニングコール状況 …… 14、29**
- モーニングコール状態画面 …… 12、29**
- モーニングコールボタン …… 16、29**

【ラ行】

- ランプの表記…………… 16

■仕様

外形寸法	幅約 96mm × 高さ約 65mm × 奥行約 220mm
質量	スターコンソール：約 290g、IP コンソール：約 300g
使用電源	主装置または給電 HUB / 電源アダプタより給電
消費電力	スターコンソール：約 3W（動作時）、IP コンソール：約 5W（動作時）
使用環境条件	室温：5～35℃ 湿度：45～80% 結露のないこと

1
前に
お使いになる2
アウトを
チェック
チェッ
ク3
を登録
する
フ
ロ
ン
ト
メ
ッ
セ
ー
ジ4
登録
する
モ
ー
ニ
タ
ン
グ
コ
ー
ル5
管理
する
客
室
の
電
話6
ご
参
考
に

■保守サービスのご案内

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 (修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。) (故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。) ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

●故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番（無料）へご連絡ください。

※携帯電話・PHSからは「0120-444113」（無料）にてお受けしております。
受付時間：24時間（午後5時～翌朝午前9時の間は録音による受付となります）

●補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

MEMO

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ： <http://web116.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：  0120-970413

※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間 9：00～17：00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：  0120-248995

受付時間 9：00～17：00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。
